

製品名: POT1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16380**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	POT1
別名	POT1; Protection of telomeres protein 1; hPot1; POT1-like telomere end-binding protein
遺伝子 ID	25913.0
SwissProt ID	Q9NUX5
免疫原	抗血清はヒト POT1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 247-296

背景

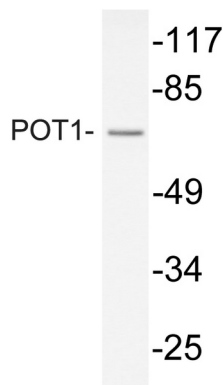
テロメア保護 1 (POT1) ホモサピエンス この遺伝子はテロムビンファミリーに属し、テロメア維持に関与する核タンパク質をコードしています。具体的には、このタンパク質はテロメアの TTAGGG リピートに結合し、テロメア長を調節し、染色体末端を不法組換

え、致命的な染色体不安定性、異常な染色体分離から保護する多タンパク質複合体の一員として機能します。この遺伝子の転写発現の増加は、胃癌の発生とその進行に関連しています。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008年7月]、代替産物：多数のアイソフォームが生成されます、機能：染色体末端の複製に不可欠なテロメラーゼリボ核タンパク質 (RNP) 複合体の構成要素です。二本鎖テロメア DNA 結合 TRF1 複合体の構成要素であり、テロメラーゼのシス阻害によるテロメア長の調節に関与しています。また、一本鎖テロメア DNA 結合タンパク質としても機能し、TRF1 複合体の下流エフェクターとして機能し、テロメアの維持および/または長さに関する情報をテロメア末端に伝達する可能性があります。シェルタリン複合体 (テロソーム) の構成要素であり、テロメア長の調節と保護に関与しています。シェルタリンは、テロメラーゼによって付加される二本鎖 TTAGGG リピートの配列と結合し、染色体末端を保護します。シェルタリンの保護活性が失われると、テロメアは DNA 損傷監視から保護されなくなり、染色体末端は DNA 修復経路によって不適切に処理されます。2つ以上のテロメア一本鎖 5'-TTAGGG-3'反復配列 (G 鎖) に結合し、また、最小のテロメア一本鎖 5'-TAGGGTTAG-3'配列に高い特異性で結合する。テロメア一本鎖配列の内部または 3'末端近傍に結合する。その活性は TERT 依存的であるが、TERT 活性を上昇させない。類似性：テロメアファミリーに属する。細胞内局在：テロメア DNA と共局在する。サブユニット：ホモダイマーまたはホモオリゴマー。TERF1、TERF2、TINF2、TERF2IP、ACD、および POT1 からなるシェルタリン複合体 (テロソーム) の構成要素である。テロメア一本鎖 DNA にモノマーとして結合する (類似性による)。テロメラーゼホロ酵素複合体の構成要素であり、少なくとも TERT、DKC1、WDR79/TCAB1、NOP10、NHP2、GAR1、TEP1、EST1A、POT1、およびテロメラーゼ RNA テンプレート構成要素 (TERC) から構成される。TERF1、TINF2、TNKS1 との複合体を形成する。TNKS1 と相互作用する。ACD とヘテロ二量体を形成する。組織特異性：普遍的。、

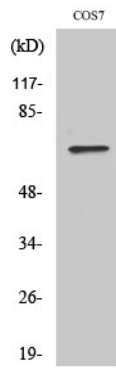
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、DNA 合成、がん、腫瘍バイオマーカー

画像データ



POT1 抗体を使用した COS7 細胞の溶解液のウエスタンブロット分析。



POT1 ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。